

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	医療法人社団 千宏会		
事業所名	介護老人保健施設ローズむらやま		
介護サービスの種類	介護老人保健施設	定員数	100
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 大京精研 ビーチェア DX [導入時期] 令和3年2月28日 [導入台数] 2台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	入浴アシストキャリーは、日曜日を除き週6日間利用している。 補助購入 2台 + 既存 2台		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入効果については、アンケートを実施し効果測定を行った。本件は増設であったため、作業工程や入浴介護時間については「変わらない」が半数を超える結果となったが、身体的負担軽減は68.8%が「軽減された」と回答した。 また、アシストキャリー増設における満足度については、90.6%が満足していると回答しており、高い導入効果と満足度を得ることができた。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	本件は増設のため、スムーズに導入することができ、特に問題や課題は見受けられなかった。 今後も継続使用して、職員の負担軽減につなげていきたい。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 千宏会		
事業所名	地域密着型特別養護老人ホーム袖崎		
介護サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員数	29
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] wellsリフトキャリー wlc-100 [導入時期] 令和3年2月15日 [導入台数] 1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	チェア浴による入浴介助 特養の機械浴を利用する入居者。(定員29名) 週2回程度の使用		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の入浴介助時の腰痛予防。 ・入居者様の移動時間の負担軽減。 ・職員1名での入浴介助の実施。 ・入浴介助時間が短縮でき、その分他の業務ができる。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 職員が統一した入浴介助ができるまで、研修会等継続的に実施する。 浴槽が狭いため、大柄な方は窮屈になる。 ・計画の確認 入浴介助に関する、ヒヤリハットの減少確認。 入居者様の満足度についてアンケート調査を実施する。 		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人長井弘徳会		
事業所名	介護付き有料老人ホームほほえみ		
介護サービスの種類	有料老人ホーム <i>（仮称）</i>	定員数	26名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] バスリフト [導入時期] 令和 3年 1月 17日 [導入台数]1式		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	入浴時に介助を要する入居者を対象に使用する。 対象入居者の入浴日に合わせ週 2~5 回を予定している。入居者の入退所状況や心身の変調等により使用頻度は変動する。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	購入前に設けた試験的設置(デモ機レンタル)期間中、入浴業務に関わる全ての職員がバスリフトの操作に関わった上で、令和2年12月28日にアンケート調査を実施した。 これまでは入浴介助に二人の職員が必要であったが一人でも対応できる可能性がある。また、職員が腰を曲げて介助する時間が短縮する為、腰痛予防への効果が期待される。 デモ機レンタル期間中に対象入居者へ使用したが納品後に対象入居者が退所した。 現入居者においても体調の悪化によりバスリフトの使用が妥当と判断される可能性があり、また新規入居者で入浴に支援が必要と判断した場合には積極的にバスリフトの使用を検討していきたい。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	試験的設置期間中に入浴業務に関わる全ての職員がバスリフトの操作に関わった上で、令和2年12月28日にアンケート調査を実施した。(資料別途添付) ・入浴介助時の職員数は対象となる入居者の心身の状態に合わせて妥当性を検証する必要がある。 ・ロボット設置により浴槽が狭くなることへの対応を検討する必要がある。 ・入居者の中には認知症の方もいる。ロボットを受け入れない場合への対応を検討する為にも引き続き情報を集積する必要がある。		